

## 団長の独り言

6月26日(日)「チームワーク」

久々に目覚まし時計のない朝を迎えられる日曜日。

昨晩はその喜びをかみしめながら、稽古で疲れ果て、気を失うように床に就いたのは午前1時くらい？しかし、いつもの習慣なのか？年寄りになってきた証拠なのか？今朝も5時に自然と目を覚ます。しようがないので一旦起きて、トイレに行つて水をガブガブ飲んで、そこでタイマーで切れた扇風機を再び回し、なんとなくうつつらうつつらして夢ばかり見ていると、「ピンポン」と玄関のベルが鳴る。

時間は午前8時ちょうどくらい。

「誰だよ！こんな早朝に！」

と思いつつ、インターフォンのモニターを確認すると、「宅配便です」という爽やかなお兄さん。

確かに午前中着で指定したけどさあ。まさか日曜日の午前8時に配達して下さると思ってもいなかったけれど、まあ午前中指定で11時50分に持つて来られるよりは全然オッケー！早く持つて来ていたほうが、午前中の時間にも有意義に使えるからね。

殺陣で使用する刀をありがたく受け取り、団長としての1日が始まる。

朝食を済ませ、車に乗り込むと、なんだ！車の温度計が40度を超えている！おいおい、こんなに暑いんじゃない？車は壊れるんじゃないの？オーバーヒートになりやしないかヒヤヒヤしながら水温計とらめこしつ、目的地へと向かう。

空はどっからどう見ても、真夏の空。梅雨明け宣言してないよね？(6月26日現在)でもこれはどうみても「梅雨明け」の空なのに、6月だからって事で、気象庁は意地はって「梅雨明け」って言わないのかな？まあなんでもいいけど、とにかくこれは完全に真夏の空だね。

そんな炎天下の中、私はどこに向かっているのかといえば劇団倉庫でして、倉庫内に眠っているエンターテイメント的な衣裳を取りに来たのです。

車はオーバーヒートする事なく到着。倉庫の扉を開けると、「むおおおおく。」室内温度は80度くらいあるんちゃうか？ってほど、鉄のコンテナは太陽光線で熱せられていて、奥に行けば行くほど室温は上昇している。

それなのに、よりによって衣裳の入ったケースは倉庫の一番奥に積み上げてあり、衣裳ケースの周りには様々なモノがこれでもかあ！ってくらい積んである。

その状態を見て「辞めよっかなあ」とも思ったけど、今のうちに劇団内にある衣裳を皆さんに合わせてもらって、「着られる・着られない・役の人物像に合う・合わない」等を早く決めなきゃ、色々と予

定も詰まってくるので、タイミング的にはやはり今日が望ましい。

「はあ」と大きくため息をつき、ペットボトルに入った水を数本用意して、気合を入れ、いざ倉庫内へ突入開始！

倉庫の奥に入ると、そこはサウナ状態。作業中、あまりの高温のため何度もめげそうになったけれど、劇団メンバーみんなが衣裳を覗いた瞬間に「うあうすごい」って言って笑顔になってくれる姿を想像し、呼吸するのも苦しい中、「うりゃうりゃ」って掛け声を掛けながら、何度も何度も水分補給をしながら頑張ったけれど、頭痛がはじまり、軽い熱中症の症状らしきものが出てきた。

やばいなあ……と思いつつも自分の体調と会話しつつ、なんとか乗り越えたけれど、作業を終え車に戻り、ガンガンエアコンを掛けても頭痛とめまいは治まらない。本当は、このあと洗車でもしようかな？コンタクトレンズ買いに行こうかな？等思っていたけれど、全て中止にして家に帰って冷や麦を作ってもらい、それを食べて仮眠タイム！

約1時間半ほどかな？クーラーを掛け熟睡したら、かなり楽になったので、水をガブガブ飲んでいざ稽古場へ。

到着するやいなや、「衣裳あるからね」と言って部屋に衣裳を運び込みお披露目すると、皆さんの反応は想像していたよ

りもやや小さな反応ではあるものの、とても楽しそうに衣裳選びをされていて、皆さんを見て、「頑張つて持つてきた甲斐があったなあ」と嬉しくなる。

しかも！あまりにも、誰も彼も嬉しそうにはしゃいでいたので、予定していなかった役の人物のメンバーにも「ドレス着てもらうかもしれないから、どうぞ！試着してちょうだい」とつい言ってしまつと、「自前のドレスが家にあるので、稽古場から10分ほど取つてくれるので、持つてきます！」って事になるメンバーも現れ、自前の衣裳を披露してもらつと、稽古場は益々可憐な華が咲き乱れる。

ドレス姿の女性陣がざらりと勢ぞろいすると、本編の筋と違ってくるような気がしないでもないが、いいの！いいの！

衣裳選びをしている過程で、お互いに見出し合い、褒め合うメンバー同士がすごくいい雰囲気コミュニケーションをとつていて、新メンバーが加わつた事で、なんとナーギこちなかつた稽古場に、チームワークも芽生え、華やいだ空気が稽古場に流れていたからね。

それにドレスを着ない予定のメンバーも、似合えば、場合によってはそんな場面もどんどん作りたいし。

やっぱりね、エンターテイメントは華やかじゃなきゃ！

楽しく、でも「お遊び気分だけじゃダメだよ！」っていうメリハリもつつつ、この日も充実した稽古を行ったのでした。